路線バス八街線の運行経路について

－八街市との協議報告－

《 目的 》

路線バス「八街線（上布田経由）」については運行確保のため毎年市より 5,000 千円程度の補助金を交付しており、運行経路の変更（短縮）等により経費削減の可能性について検討するため。

《 運行状況 》

現在八街市内ではコミュニティバスが運行（別添資料１参照）しており、行政境付近において、接続が可能かどうかの協議を実施した。

なお、現行の運行ルート、運行時刻及び利用状況は以下のとおり。

【八街線経路】　東金駅 ＜ 上布田経由 ／ 滝台経由 ＞ ― 極楽寺 ― 八街駅

【八街線時刻表】

八街駅行き

青文字；土・休日運休、赤文字；休日運休　　緑枠；休日・休校日には学校経由無し。

	東金駅	東商高校	菅谷	栗生	滝沢入口	上布田	極楽寺	笹引	駒返	八街駅
①	6:07	―――	(滝台　6:20)経由	―――			6:25	6:28	6:30	6:40
②	8:13	8:19	8:26	8:28	8:34	8:39	8:42	8:45	8:47	8:57
③	11:35	―	11:42	11:44	11:48	11:52	11:55	11:58	12:00	12:10
④	15:25	―	15:35	15:37	15:43	15:47				
⑤	16:22	―	16:29	16:31	16:35	16:39	16:42	16:45	16:47	16:57
⑥	18:10	―	18:20	18:22	18:28	18:33	18:36	18:39	18:41	18:51

東金駅行き

青文字；土・休日運休、赤文字；休日運休

	八街駅	駒返	笹引	極楽寺	上布田	滝沢入口	栗生	菅谷	東商高校	東金駅
①	6:50	6:57	6:58	7:01	7:05	7:10	7:16	7:18	―	7:31
②	9:20	9:27	9:29	9:32	9:35	9:40	9:46	9:48	―	10:01
③	12:30	12:37	12:39	12:42	―――	(滝台　12:47)経由	―――			13:02
④					15:48	15:51	15:57	15:59	16:02	16:12
⑤	17:30	17:37	17:39	17:42	17:45	17:49	17:53	17:55	17:58	18:12
⑥	19:00	19:07	19:09	19:12	19:15	19:19	19:23	19:25	―	19:43

【八街線利用状況】

H25 年 11 月 18 日（月）、20 日（水）、22 日（金）及び 23 日（土）の４日間
乗降調査を実施した結果は以下のとおり

	東金駅乗車人数（内高校生）		⇒	東商/学芸高下車人数	⇒	八街駅下車人数	乗車人数合計
①	0.00名	（0.00名）		—		1.00名	1.00名
②	20.75名	（20.50名）		20.50名		0.75名	22.00名
③	1.00名	（0.00名）		—		1.25名	2.75名
④	1.33名	（0.00名）		— 上布田止			1.33名
⑤	4.25名	（0.50名）		—		1.25名	6.50名
⑥	1.66名	（0.66名）		—		0.00名	2.00名
1日平均	**28.99名**	**（21.66名）**		**20.50名**		**4.25名**	**35.58名**

	八街駅乗車人数（内高校生）		⇒	東金商業乗車人数	⇒	東金駅下車人数	乗車人数合計
①	0.00名	（—）		—		2.30名	2.30名
②	1.25名	（—）		—		7.25名	7.50名
③	2.25名	（—）		—		0.25名	3.00名
④		（—）	上布田発	3.66名		4.00名	4.00名
⑤	1.50名	（—）		0.25名		1.00名	2.00名
⑥	2.00名	（—）		—		1.00名	2.33名
1日平均	**7.00名**			**3.91名**		**15.80名**	**21.13名**

○ **利用状況**としては

1．「八街駅方面行き」（計６便）１日当たりの利用者数は約 36 人であり、
　その内約 22 人が東金商業高校下車、また約４人が八街駅下車
2．「東金駅行き」（計６便）１日当たりの利用者数は約 21 人であり、
　その内約７人が八街駅での乗車

○ **利用目的**を聞き取りしたところ、「通勤のため利用」が２名（平日毎日）、
１名（週２日）で、その他は「通院、または買物」（週１回～月１回程度）であった。
※高校生以外の利用者

《 協議内容 》

八街駅利用者が１便当たり２～３人であることから、行政境（笹引）までを「八街線」の運行区間とし、その先（笹引ー八街駅）は「八街市ふれあいバス」に乗り継ぐ（案）について行った。

八街市側の回答は、「八街市ふれあいバス」の１台あたりの乗車定員は 25～26 人（内座席 18 人～19 人）であり、現状での利用状況においては接続は可能。

ただし、運行時刻の変更予定はなし。

この（案）に沿って検討した結果、「八街駅行き」及び「東金駅行き」それぞれいくつかの路線において時間的な接続は可能と思われる。

※ＪＲとの接続を考慮しつつ、若干の運行時間を調整した場合

　ただし、「笹引止り」の便を運行した場合、車両の回転場所の確保が必要となる。

※現在大型車両を使用しており、それに見合った回転場所の確保、あるいは運行車両の小型化が必要となる。

《 接続案で想定されるメリット・デメリット 》

A　メリット

(1)運行経費削減（＝補助金の削減）の可能性

　運行委託費縮減‥‥燃料費、人件費

B　デメリット

(1)利用運賃の負担増　東金駅⇔八街駅

　現行：八街線（東金駅 ⇔ 八街駅）600 円

　乗継：八街線（東金駅 ⇔ 笹　引）570 円 ＋「八街市ふれあいバス」200 円

《 今後の対応 》

「八街市ふれあいバス」との乗継は運行車両の小型化（小型バス、ワンボックスカー）が必要となるため、車両の更新時期に合わせ再度改善の方策を検討する。

また、乗り継ぎの際に適当な回転および待機場所の確保を必要とする。

昭和 55 年８月　旧国鉄バス布田線が廃止されたことに伴い、九十九里鐵道株式会社と代替運行に関する覚書を交わし、同路線のＪＲ八街駅への乗入れが確認されたことから平成 13 年度より補助金を支出している。（東金駅⇔八街駅間　所要時間　約 40 分前後）

八街市ふれあいバス　南コース（一部）
九鐵　八街線　（一部）